



8月3-9日

アルマ43-52章

あなたの目はどこに向いていますか

モロナイ:

1. 「大さばきつかさたちと民の声とによって任命」

されました (アルマ 46:34)。

2. 自分が信じていることを「大声で」知らせ、ほかの人たちにも

善い行いを呼びかけました (アルマ 46:19-20 参照)。モロナイの胸は

「神への感謝で……いっぱい」でした (アルマ 48:12)。

3. 自分の民と、権利と、国と、宗教を守ると固く誓っていた一方で、

血を流すことに誇りを感じてはいませんでした

(アルマ 48:13, 16 参照)。

4. 自由に喜びを見だし (アルマ 48:11 参照)、心の

中で「民を守ること」に誇りを感じていました

(アルマ 48:16)。

司 令官モロナイとアマリキヤは、それぞれの人生で異なる事柄に目を向けていました。「アマリキヤが……^{まん}欺瞞と偽りによって権力を手に入れていた間、一方でモロナイは、主なる神に忠実であるように民の心を備えさせて」いました (アルマ 48:7)。

モロナイとアマリキヤの違いから何が学べるでしょうか。



アマリキヤ:

1. レーマン人の王を退け、自らが王になろうとしました

(アルマ 47:8 参照)。

2. 「悪を行うのに非常に巧みな男」であったので、ひそかに

「計画を心の中で練って」いました (アルマ 47:4)。

また、神をのろってもいました (アルマ 49:27 参照)。

3. 戦争を起こすためにレーマン人を扇動して怒らせ、

モロナイの血を飲むと誓いました

(アルマ 47:1; 49:27 参照)。

4. ニーフアイ人を奴隷の状態に置くために戦い (アルマ 49:

26 参照)、「自分の民の血など気にもかけ」ませんでした

(アルマ 49:10)。

話し合い

モロナイは何に目を向けるかについて、「もっと良い動機に励まされて」いました (アルマ 43:45)。あなたの生活において、あなたはどこに目を向けていますか。

モルモン書から、義にかかったものを守った人の模範として、ほかにどのような例を見つけられますか。彼らの模範は、あなたにとってどのように助けとなるでしょうか。

